

2018年度 認知神経リハビリテーション・ベーシックコース（北海道・プログラム）

1日目 平成30年8月4日（土）

09:30- 受付

09:50- オリエンテーション・認知の樹（映像）

【リハビリテーション脳科学】

10:10-11:10 行為と認知のニューロサイエンス【池田】

脳の知覚運動制御メカニズム／運動意図(予測)と運動イメージ
運動学習モデル(スキーマ理論、比較学習)／身体意識／行為の多感覚統合

11:20-12:20 片麻痺の機能回復神経学【村上】

痙性麻痺と錐体路／機能解離と半球間抑制／
片麻痺の機能回復とリハビリテーション治療

【認知神経リハビリテーション入門】

13:10-14:00 認知神経理論【高橋】

身体と環境の相互作用／回復を認知過程の活性化による病的状態からの
学習プロセスとみなす／身体の変容性(知覚の精密化)、可変性(運動の細分化)、
適応性(連動性)による行為の創発

14:10-15:40 病態分析と病態解釈（演習）【高橋】

脳画像検査や手術所見などから得られる情報から数量化、視覚化可能な検査チャート
による評価まで／外部観察～姿勢と動作の特徴（自発的・規定動作）、神経学的病理、
特異的な運動の異常要素、行為システム／内部観察～認知過程の変質、意識経験の変質、
観察のためのプロフィール、一人称言語記述、意識の志向性

15:50-16:40 行為の機能システムと情報メカニズム【池田】

身体を情報の受容表面と捉える／行為・機能・情報のヒエラルキー
行為の機能システムの回復のための情報の構築

16:50-17:40 道具と訓練【木村】

道具の名称／物理的道具と心理的道具
ツールとしての訓練器具・運動イメージ・言語・他者観察

17:50-18:40 認知問題と訓練の組織化（演習）【村上】

身体部位、訓練段階、感覚モダリティ、認知問題
空間問題と接触問題／テーマ(身体部位)、内容・方法・検証

19:00-20:30 レセプション

2日目 平成30年8月5日(日)

09:10- オリエンテーション

【認知神経リハビリテーションの実際】

09:20-13:00 行為の機能システムと認知神経リハビリテーション
行為システムと訓練器具の関係/難易度の調整/基本的手続きと実技
上肢に対する認知神経リハビリテーションの実際【村上】
体幹に対する認知神経リハビリテーションの実際【竹中】
下肢に対する認知神経リハビリテーションの実際【高橋】

【脳の中の訓練室】

13:50-14:30 右半球損傷の病態解釈と回復の探求 ～半側空間無視【松下】
「行為のスペース・インテグレーション(空間統合)」としてみた右半球障害の特徴
半側空間無視の病態(注意障害、身体空間・身体周辺空間・身体外空間)
半側空間無視の治療(身体の正中線、体性感覚空間への注意、行為の多感覚統合)

14:40-15:20 左半球損傷の病態解釈と回復の探求 ～失行症【横山】
行為のトランスフォーメーション(変換)」としてみた左半球障害の特徴
失行症の病態(肢節運動失行・観念運動失行・観念失行)
失行症の治療(動作的・映像的・言語的表象の同種・異種感覚情報変換、道具使用)

【身体化された認知】

15:30-16:10 身体化された認知【高橋】
脳はどのように作られるのか、発達心理学の巨人から学ぶ
～ヴィゴツキー、ピアジェ、ブルーナー…
身体・物語・人生とロマンティック・サイエンス
～ルリア、サックス、ヴァレラ、ペルフェッティ…
行為の記憶と想起された現在
～認知運動療法から行為間比較への旅…

16:20-16:30 まとめ